

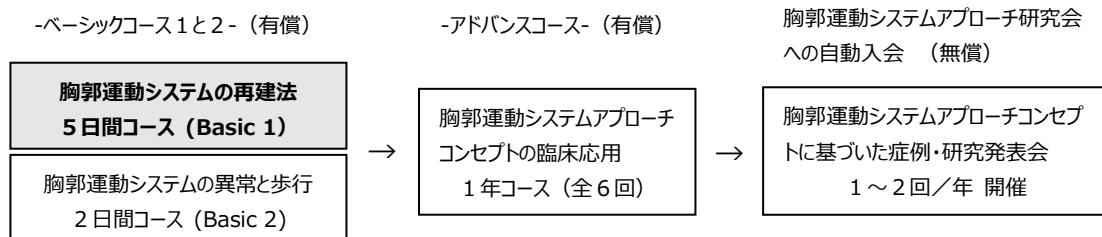
関係者各位

胸郭運動システムアプローチ講座 ベーシックコース1 18期 開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびは、Breathing Care Tokyo 主催の ベーシックコース1 の開催についてご案内いたします。

ベーシックコースは、ベーシックコース1の「胸郭運動システムの再建法5日間コース」と今回ご案内するベーシックコース2の「胸郭運動システムの異常と歩行2日間コース」から構成されております。これらベーシックコース1と2を修了されましたら、上位のアドバンスコースへとお進み頂けます。胸郭運動システムアプローチ講座の構成を以下にお示しいたします。



胸郭運動システムアプローチ講座の構成

このベーシックコース1では、胸郭をテーマにじっくり勉強したいとご賛同いただける先生方と一緒に、胸郭運動システムの再建について探求していきたい思いでこの講習会を企画いたしました。ご参加いただけます先生方と十二分に話し合いを持てる講習会になればと考えております。講習会は20名前後での少人数制で、月1回の頻度で、全5回開催いたします。条件と致しましては、原則として全5回ご参加いただけることといたします（難しい場合はご相談承ります）。胸郭運動システムの再建における基礎から臨床応用まで、理学療法介入を胸郭から行うことができ、臨床結果を引き出せるまでを目標にした内容になります（別紙参照）。ご興味をもていただける先生方にご参加いただければ幸いです。尚、ご参加をいただける場合は、お手数ですが、下記のメールアドレスまでお知らせください。ご参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 開催日 : 2026年8月より開始
 第1回 8月30日(日) 第4回 11月29日(日)
 第2回 9月27日(日) 第5回 12月20日(日)
 第3回 10月25日(日)
2. 講師 : 柿崎藤泰 (文京学院大学)
3. 時間 : 全日程 10:00-16:00 (昼休憩1時間、計5時間)
4. 受講費 : 全5回分 ¥70,000 (税込) (お申し込み後、お振込のご案内を致します)
5. 定員 : 24名 (最大収容人数の50%)
6. 場所 : Breathing Care Tokyo (最寄り駅: JR 秋葉原駅 徒歩11分)
 〒110-0016 東京都台東区台東 1丁目 23-12 パールヨットビル 2F
7. お申し込み先・お問い合わせ先 :
 e-mail : breathingcaretokyo@gmail.com (セミナー事業部迄)
 以下の項目をご記入ください。
 - ① 氏名 (ふりがな)
 - ② 性別
 - ③ 所属施設名 (都道府県名含む)
 - ④ 職種
 - ⑤ 経験年数
 - ⑥ メールアドレス (PC とスマートフォン)
 - ⑦ 当日連絡可能な電話番号

日程について…

左記日程は現在での設定日になります。日程の確定は2026年12月末頃となり、変更があった場合早急にご連絡申し上げます。

万が一変更せざるを得ない場合は、各開催予定日の1週間前後に日程変更を行う可能性があります。

尚、定員になり次第締め切らせていただき、キャンセル待ちにて受付いたします。

以上

[講習内容]

<p>第1日目 胸郭運動システムの基礎 I</p> <p>〔目的〕 胸郭運動システムについて理解する。 〔目標〕 胸郭運動システムについて理解したことを説明できる。 胸郭左側方偏位と右側方偏位の違いを説明できる。 胸郭左側方偏位と右側方偏位に対し的確に評価ができる。 〔概要〕 1. 胸郭運動システムについて (1) 胸郭運動システムとは (2) 胸郭運動 (3) 胸郭運動システムの異常 (4) 胸郭左側方偏位 (5) 胸郭右側方偏位 (6) システム異常に対する考え方</p>	<p>第3日目 胸郭運動システムの基礎 III</p> <p>〔目的〕 胸郭の3つの運動パターンについて理解する。 各運動パターンが身体運動に及ぼす影響を理解する。 左側下位胸郭と浮遊肋に及ぼす筋の作用を理解する。 〔目標〕 胸郭の3つの運動パターンの内容をそれぞれ説明できる。 対角線の関係をもつ胸郭運動パターンにおける正常と異常のメカニズムの相違を説明できる。 下位胸郭のニュートラル化の重要性を説明できる。 〔概要〕 2. 胸郭の Motor Function (3) 左右の関係をもつ胸郭運動 (4) 対角線の関係をもつ胸郭運動 a) 典型的な偏位と運動パターン b) 誘発する直接的要因 c) 誘発する間接的要因 d) EIMとFIM e) 左側下位胸郭に作用する Wrapping action f) Wrapping action における Task switching g) 下行性 EIMとFIM h) 上行性 EIMとFIM</p>
<p>第2日目 胸郭運動システムの基礎 II</p> <p>〔目的〕 胸郭の3つの運動パターンの内容について理解する。 各運動パターンが身体運動に及ぼす影響を理解する。 左側下位胸郭と浮遊肋に及ぼす筋の作用を理解する。 〔目標〕 胸郭の3つの運動パターンの内容をそれぞれ説明できる。 対角線の関係をもつ胸郭運動パターンにおける正常と異常のメカニズムの相違を説明できる。 下位胸郭のニュートラル化の重要性を説明できる。 〔概要〕 2. 胸郭の Motor Function (1) 胸郭の機能分類 (2) 上下の関係をもつ胸郭運動 a) 典型的な偏位と運動パターン b) 運動メカニズム c) UAPとULP d) 呼吸運動による判定 e) 後足部安定性評価 f) 歩行での特徴</p>	<p>第4日目 胸郭運動システムの再建 I</p> <p>〔目的〕 胸郭のポジショニングの重要性について理解する。 〔目標〕 胸郭アライメント評価を的確に実行することができる。 胸郭のニュートラルポジションを的確に実行することができる。 〔概要〕 2. 胸郭の Motor Function (4) 対角線の関係をもつ胸郭運動 i) 胸郭アライメント評価/視診 j) 胸郭アライメント評価/徒手 k) 胸郭のポジショニング ・上位胸郭 ・下位胸郭と浮遊肋</p>
	<p>第5日目 胸郭運動システムの再建 II</p> <p>〔目的〕 上位胸郭と頸椎および肩甲骨運動の連鎖を理解する。 〔目標〕 頸椎運動にともなう上位胸郭の運動を的確に促進することができる。 肩の運動にともなう上位胸郭の運動を的確に促進することができる。 〔概要〕 3. 胸郭運動システムアプローチ (1) 頭頸部に対する課題 (2) 上肢帯および上肢に対する課題 (3) 左側下位肋骨と左側浮遊肋の動きの確認</p>

[講師プロフィール]

1991年	3月	社会医学技術学院理学療法学科卒業 理学療法士国家資格取得	
同 年	4月	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーション部勤務	
1994年	4月	昭和大学医学部第二生理学教室特別研究生	
1997年	4月	昭和大学附属豊洲病院リハビリテーション部主任として異動	
1999年	12月	アメリカ呼吸管理学会 (American Association for Respiratory Care) 「Respiratory Care」にて 1999 年 Best Original Paper Award 受賞	
2002年	3月	昭和大学医学部第二生理学教室 博士課程修了 (医学博士)	
2006年	3月	昭和大学附属豊洲病院退職	
同 年	4月	文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科准教授として勤務	
2012年	4月	同大学 保健医療技術学部教授、保健医療科学研究科教授として勤務	
2017年	12月	Breathing Care Tokyo 株式会社 設立	現在に至る

[主な著書]

2013年	新人・若手理学療法士のための最近知見の臨床応用ガイドスー筋・骨格系理学療法 文光堂
2013年	呼吸リハビリテーションの理論と技術 改訂第2版 MEDICAL VIEW
2015年	理学療法技術の再検証 科学的技術の確立に向けて (理学療法 MOOK 17) 三輪書店
2016年	胸郭運動システムの再建法 呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 三輪書店
2017年	運動のつながりから導く肩の理学療法 文光堂
2017年	胸郭運動システムの再建法 第2版-呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 ヒューマン・プレス社
2020年	運動のつながりから導く姿勢と歩行の理学療法 文光堂

[主なビデオ・CD]

2014年	胸郭運動システムの再建法 ～運動器として捉えた胸郭の機能評価と治療展開～ ジャパンライム社
2017年	胸郭運動システムの再建法セミナー ～レッドコードを利用した治療戦略～ ジャパンライム社

